小学校

たのしかったかさこじぞう

二年B組　伊藤　杏耶奈

わたしは、文かさいで、かさこじぞうのげきをしました。わたしは、コールやくをやりました。げきをやるのにむずかしかったことは、二つあります。

一つ目は、にているせりふがあったことです。二つ目は、本ばんでは、きんちょうして言ばが出ないことがあることです。

だから、お家でいもうとといっしょにれんしゅうをしました。でも、うまくいかなくて何回もれんしゅうをしました。本ばんはよくできたなと思いました。

家に帰ったら、お母さんがとってくれたビデオを見ました。お母さんとお父さんに「大きい声でがんばったね。」とほめてもらいました。ほめてもらって、すごくうれしかったです。

がんばった文化さい

三年B組　服部　たまき

わたしがモチモチの木でがんばったことは、音読とリコーダーと歌です。音読はまちがえずにはっきり言えました。リコーダーはにがてだった高いミの音も上手にふけました。歌はわたしが歌うたびにお母さんがビデオをとっていました。きんちょうしましたが、さいごまで上手にできました。練習のせいかが出せたと思います。毎日休まずに練習に出てよかったです。リコーダーはピアノと合わせる時にとてもきれいだったとお母さんがほめてくれました。このモチモチの木の発表は、きっと今年の一番の思い出になると思います。楽しくて、きんちょうして、じゅうじつした一日になりました。

落語を演じた初等部文化祭

四年A組　吉田　朱里

今年の初等部文化祭は「寿限無」「まんじゅうこわい」の二つの落語をげきにしてやりました。わたしは「寿限無」の、後半のお父さん役をやりました。本当は、前半のお父さん役に三人が立候補してオーディションをしたけど、みんなが上手だったので、四年生全員の前でオーディションをして決めようということになりました。結果は、前半はわたしじゃない子がやって、後半をわたしともう一人の子のどちらがやるのかを決めるときに、もう一人の子が「自分がお母さん役をやろうか。」と言ってゆずってくれました。

本番の直前には、どんどんきんちょうがひどくなってきました。自分の出番が来るまでずうっと「人」と三回書いて食べるなど、いろいろきんちょうをほぐすためにやってみたのですが、あまり変わらないまま自分の出番が来てしまいました。きんちょうのせいか、あまり声が出せませんでした。でも、初等部文化祭はよかったと思います。役をゆずってくれた子には、本当にかんしゃしています。楽しかったです。

中学校

駅伝から学んだこと

九年A組　小林　果穂

私は、駅伝に参加して本当に良かったなと思いました。

初めのうちは、みんなについていくのも大変でした。練習もきつかったです。しかし、そんなときに、チームで「ファイト！」や「頑張れ。」という声掛けがあり、頑張ることができました。

私は、練習中の先生からの言葉で、とても心に残ったものがあります。それは、「自分に負けるな。」という言葉です。その言葉で、私は、自分に負けないように、前の人について行くことがで

きました。

本番では、去年の自分に負けない、という目標をもって走りました。タイムは、二秒、去年の自分に勝つことができて、とてもうれしかったです。走っている途中に、先生方の応援、仲間の声が聞こえてきて、「絶対負けない。」と強く思えました。結果は、去年よりぐんと上がって、みんなが自己ベストをだすことができてうれしかったです。そして、今まで応援してくれた人たちに感謝したいです。

経験と成長

九年A組　吉田　奨

僕は、駅伝部の活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。苦しさを乗り越える強い心、仲間と支え合い努力すること、最後までやり遂げたときの達成感、自分の実力を知ったときの悔しさ、そのどれもが、これからの僕を変えてくれそうな気がします。

夏休みからずっと、大会で結果を残すために練習をしていて、9年生の光毅と蓮が先頭を走る中、僕はタイムが出ず、とても辛かったです。でも、そこで諦めたくはなかったので、先生のアドバイスを意識して走り方を改善したり、自分の考えを持って走ることで、タイムを出すことができました。そのときにはとても嬉しかったです。

大会では、先に走った女子が8位でゴールし、男子には、とてもプレッシャーがかかりました。その中で、前の5人が素晴らしい走りで、僕は9位で襷をもらいました。僕も自己ベストを出すことはできたけど、順位を4つ下げてしまい、男子6人の中で1番遅いタイムでした。でも僕は、全力を出しきった結果だったので、現実を受け止めなければいけないと思いました。この結果を受け止めて、次に繋げることで、成長しなければならないと思いました。

僕は駅伝で学んだことを、自分が成長するための経験値として、大切にしていきたいです。

強くなれた自分

九年B組　鈴木　聡美

自己ベスト記録に挑戦する。私は、これを目標として駅伝部に入部しました。インターバルの練習は、とてもつらかったです。でも先生は、「自分を追い込め。」「自分に負けるな。」と応援してくれました。インターバルの練習が終わったときは、苦しさに負けないでやり切ったという達成感を感じることができました。大会では、自己ベスト記録より17秒速く走ることができて驚きました。自己ベスト記録を出せて嬉しかったし、区間で5位という去年より良い結果を残すことができてよかったです。

駅伝を通して私は強くなれたと思います。苦しいときでも自分に負けないで走り続けることができたからです。これからつらいことがあっても自分に負けないで目標に向かっていきたいです。駅伝部のみんなと一緒に走ることができて本当に楽しかったです。

飛島学園　1月の行事予定

1月	7日㈭	始業式　小中
	8日㈮	給食開始　小中
	14日㈭～15日㈮	学年末テスト（9年）　中
	25日㈪～26日㈫	三者懇談（9年）中
	26日㈫	2分の1成人式（4年）　小